

花きの県別生産出荷概況(11月見通し)

令和元年10月31日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
				期間		出荷総数 千本	京浜地域向 千本	上旬	中旬	下旬		
				(ピーク)	(前年比)	(前年比)	(前年比)					
バラ	群馬	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	12.2 (95%)	680 (100%)	510 (100%)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	気温の低下や炭酸ガスの施用により、各産地で品質の向上が見られている。また、産地によってはヒートポンプ等による暖房が開始されている。台風被害としては、一部の産地で冠水したハウスがあるが、大きな影響は無く出荷量は平年並を見込む。目立った病害虫の発生はみられない。
アメリ スアト ロ	長野	加温・ 地中 冷却	ピンクティアラ ハニーソフィア ホワイトニー ピンクサプライズ	周年 (4月)	25 (101%)	1,225 (105%)	400 (106%)	35	35	30	上伊那 諏訪 佐久 松本	定植初期の気温が低かったため全体的に生育順調。気温が低いためハウスを閉めている時間帯が長いため過湿により病害の発生懸念はある。

花きの県別生産出荷概況(11月見通し)

令和元年10月31日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	気温が例年より高く、引き合いが弱い。西南暖地の品質も向上してきており、高冷地から西南暖地へと購入マインドが徐々に移行。西南暖地の品質向上に伴い、輸入品への依存度が減少した(大田)。宴会需要多くなく低めの相場で推移。入荷数量もやや少ない状態が続く(FAJ)。ブライダル需要の引き合いはあるが、天候等の影響から小売店頭の動きが鈍い(世田谷)。増税による買い渋り、台風と季節外れの猛暑の影響で末端の消費が輪をかけて鈍く小売り向けの販売が苦戦している。婚礼の動きは多少あるものの相場に反映されていない(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	ハロウインの引き合いも終わり、ブライダル、クリスマス前のディスプレイの入れ替えになる為、オレンジ系、黄色系品種は販売に苦戦する事が予想させる。出荷数量も気候次第だが安定する。
		FAJ	西南暖地主体の入荷に徐々に切り替わり始める。出荷数量は昨年並み程度を予定。
		世田谷花き	気温の低下と共に入荷量は安定してくる見込み。産地も入れ替わり単価も保合の見込み
		東日本板橋花き	11月も大きな需要は無く引き続き似たような相場展開となる見込み。
アルストロメリア	現状	各産地より、入荷量は増加し始める、葬儀需要中心となるが、徐々に専門店からの問い合わせもあった。気温が下がり、日持ちも良くなってきた中旬以降、量販店からの問い合わせも増加した(大田)。長野・山形主体。数量は横ばい。比較的安定した相場も台風の影響で下落(FAJ)。北海道産少量。長野県産が夏から続いて多いが、下旬に向けて徐々に減る(世田谷)。愛知・青森中心の入荷。昨年と同じ位の入荷量(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	愛知・長野の数量が増加し、白・黄色・ピンクが中心の出荷となる。
		FAJ	長野・山形主体の入荷。新品種や特殊品種が徐々に出揃い、活発な取引に。
		世田谷花き	長野県産品質向上。安定出荷。茨城県産少量始まる。
		東日本板橋花き	愛知・青森中心の入荷。天候次第で入荷量の増減あり。
ストック	現状	山形中心にSP系・ST系は安定した入荷となった。需要面では葬儀需要中心の動きとなった(大田)。福島・山形などを中心に出荷(FAJ)。花芽分化遅く、やや遅れ気味。山形から出荷始まる(世田谷)。	
	見通し	大田花き	山形は安定入荷となるが、中旬以降出荷の千葉が台風の影響で数量減少する。需要面では、葬儀需要中心に小売りや加工でも動く見込み。
		FAJ	東北主体に出荷。数量徐々に増量する見込み。
	世田谷花き	SP・ST共に、山形・福島からの出荷のピークを迎え潤沢。	